

平成 21 年 8 月 27 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 COO 森 下 将 典
(コード 3121 大証 2 部・福証)
問合せ先 経営管理部長兼社長室長 庄 佳 秀
(TEL 03-3502-4910)

北京大学 国際関係学院への学術振興支援に関するお知らせ

当社が学術提携を行っております北京大学 国際関係学院において、平成 21 年 8 月 26 日付で北京大学東北アジア区域一体化センター（当社から副理事長を派遣）主催による、人民元の国際化と日中の金融協力に関するフォーラムを開催いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. フォーラム開催の経緯

当社は本年 6 月に、当社の日中間ビジネスにおける社会貢献活動（CSR 活動）の一環として、北京大学 国際関係学院と学術提携契約を締結し、東アジア地域内の貿易自由化や東アジア通貨の統合の可能性等を研究テーマとしている北京大学東北アジア区域一体化研究センターのスポンサーに就任いたしました。

今回、当該学術提携に基づく活動の一つとして、同センター主催による中国人民元の国際化と日中の金融協力に関するフォーラムを開催したものであります。

2. フォーラムの内容

- (1) テーマ：「アジア通貨協力の選択」
- (2) 開催日：平成 21 年 8 月 26 日
- (3) 開催場所：北京大学国際関係学院
- (4) フォーラムの内容

今回のフォーラムは「アジア通貨協力の選択」をテーマに、中国側から、中国の国際政治研究の第一人者である王緝思 北京大学国際関係学院長（北京大学東北アジア区域一体化研究センター理事長）、中国の経済政策研究の第一人者である張宇燕 中国社会科学院世界政治研究所長他、北京大学、社会科学院、外交学院、人民大学の著名研究者が参加いたしました。日本からは中北徹 東洋大学大学院経済学研究科教授（元外務省出身）、林原行雄 東洋大学経済研究科客員教授他が参加し様々な提言が行われました。

今回のフォーラムの目的は、日中間の貿易や投融資等の資本取引に係る資金送金について、各々の中央銀行が管理している資金決済システムネットワークを統合することにより、人民元と日本円の通貨決済を即日、直接行えるようにすることにあります。現状は、基軸通貨である US ドルを介在して行われることから時間とコストがかかるため、この問題を解決するために通貨決済統合を求める提言を日本側から行いました。

今回の提言である人民元と日本円の決済システムの統合や双方の外為規制緩和は、東アジア経済圏の企業や投資家に多大なメリットをもたらすものであると共に、今後の同経済圏の発展に大きく貢献するものと考えております。

当社は、アジア有数のマーチャントバンクを目指して、日中双方の企業の成長・発展に貢献すべく事業展開を図ると共に、東アジア経済圏の発展に資する CSR 活動に今後も積極的に取り組んでまいります。

以上